

# 郵便事業株式会社の競り下げの実施状況について（平成22年度上半期実施結果）

平成23年3月10日  
郵便事業株式会社

## 1 施策の目的

入札における競争性を向上させ、調達コストの削減を図る。

## 2 RA（リバースオークション）の概要

- ・インターネットを活用した入札を実施  
⇒入札参加への距離的制約の排除。
- ・「競り」方式の採用  
⇒競争相手の価格を認識した上で対抗価格を引き出し。
- ・入札案件の周知及び応札勧奨の強化  
⇒メールにより、入札公告と同時に関係業者に網羅的に通知。  
⇒有力業者への電話等による個別勧奨。
- ・入札の事前準備として、「仕様の明確化」、「要求要件の緩和」、「仕様の一般化・業界標準化」を実施  
⇒調達サポートデスクを設置し、施策元から調達契約、仕様等に関する相談をし易い環境を作ることにより、調達部（及びコンサル委託会社）で調達案件を早期に把握した上で計画段階で関与し、施策元に対し、コスト削減に繋がる提案をする。

### 従来の入札との相違点

相違点	従来の入札	RA方式入札
入札の場所	本社入札室	自社パソコン
入札媒体	ペーパー（入札書）	電子入札（インターネット経由）
入札回数	2回	無制限
競争相手の判明性	高い	低い

## 3 実施結果

### (1) 全体概要

#### ア 削減額

（単位：千円）

区分	件数	予算額	削減額	削減率
削減額及び削減率 （22年度上期累計）	120	14,137,902	1,293,466	9.1%

#### 【削減率上位5件】

（単位：千円）

案件名	予算額	削減額	削減率	応札者数	入札Bit数
DDS4(DG4-150M)20個ほか17点	14,056	8,809	62.7%	5	55
ロールパレットケース(透明型)	67,803	40,842	60.2%	5	91
有証用ケース	565,320	318,194	56.3%	5	162
お年玉付郵便葉書賞品当せん番号等案内用チラシ	3,231	1,623	50.2%	5	46
空港ゆうパックカウンター一覧(22.7.1)	960	475	49.5%	4	28

#### 【削減額上位5件】

（単位：千円）

案件名	予算額	削減額	削減率	応札者数	入札Bit数
有証用ケース	565,320	318,194	56.3%	5	162
燃料(エネオス系列)の購入	4,973,104	138,516	2.8%	3	15
ユ00075 携帯プリンタラベル用紙	341,626	106,758	31.3%	5	31
事業用貨物自動車(1t)2WD	236,544	68,464	28.9%	3	119
事業用軽自動車(保冷車)2WD	415,800	59,100	14.2%	2	50

#### 【入札ビット数上位5件】

（単位：千円）

案件名	予算額	削減額	削減率	応札者数	入札Bit数
有証用ケース	565,320	318,194	56.3%	5	162
セキュリティワイヤー	1,652	762	46.1%	8	135
レターパックフック袋	14,200	5,104	35.9%	4	120
事業用貨物自動車(1t)2WD	236,544	68,464	28.9%	3	119
ユ90000 郵便番号簿	174,398	48,579	27.9%	3	115

#### 【応札者数上位5件】

（単位：千円）

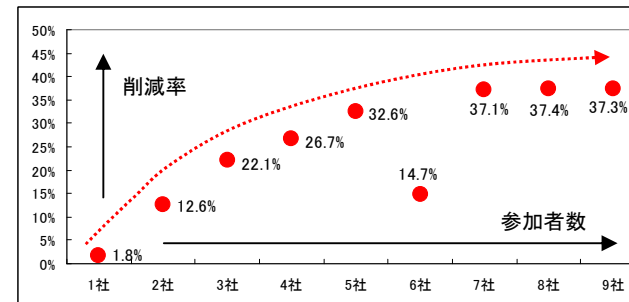
案件名	予算額	削減額	削減率	応札者数	入札Bit数
ユ62002 郵袋用封かん具	59,608	28,634	48.0%	9	77
のぼり(西日本)	15,960	5,565	34.9%	9	22
のぼり(九州)	4,768	1,387	29.1%	9	30
ポケットティッシュ36,605,000個ほか1点	96,310	20,040	20.8%	8	44
のぼり(東日本)	16,250	4,882	30.0%	8	31

### イ 調達サポートデスクの相談受付・仕様要件緩和等の実施状況

項目	件数	主な案件
調達サポートデスク受付件数	53	
・要件緩和等実施件数	22	国際スピード郵便封筒、グリーティングカードハンドブック等
・サプライヤ調査、見積り取得等	18	ユ72000 把束系、安全靴等
・その他	13	システム開発等RA対象外案件(要件緩和提案は実施)

### (2) 実施条件等による個別分析 ※車両燃料、極端な低価格入札等、特殊案件を除く

#### ア 応札者数と削減率



- ・参加業者数が多いほど、削減率が高くなる傾向。
- ・参加者数が7社以上になると、削減率は、ほぼ横ばい。

※該当入札案件が少数のため、全体傾向から、やや乖離しているデータあり。

### イ 仕様要件緩和・明確化による効果 ※RAが機能した案件のみ抽出

#### 【仕様要件緩和有無の比較】

区分	件数	1件あたり平均削減率
要件緩和等実施	19	29.3%
要件緩和等未実施	64	21.6%
計	83	

#### 【要件緩和検討期間別の効果比較】

区分	件数	1件あたり平均削減率
調達サポートデスクに仕様検討段階で相談	11	31.4%
調達サポートデスクに文書起案直前で相談	8	26.3%
計	19	

- ・仕様要件緩和等を行った案件については、未実施の場合と比較し、7.7ポイント削減率が高い。(29.3%)
- ・調達サポートデスクに仕様検討段階で相談があり、要件緩和等を行った場合は、文書起案直前で相談した場合より、5.1ポイント削減率が高い(31.4%)。

(現状ではサンプル案件がまだ少ないことから、今後も注視。)

## ウ 新規業者参入の有無と削減率

※RAが機能した案件のみ抽出

【新規業者参入有無の比較】

区分	件数	1件あたり平均削減率
新規業者参入	16	26.1%
新規業者参入なし	67	22.7%
計	83	

- ・新規業者が参入した案件は、未参入の案件と比較し、**3.4ポイント削減率が高い。**
- ・新規業者の参入がなかった案件についても、従来の入札と比較し、**削減率は相当高い。**

## (3) RAが機能しなかった(参入者が1社以下)案件の分析

### ア 機能しなかった案件数等

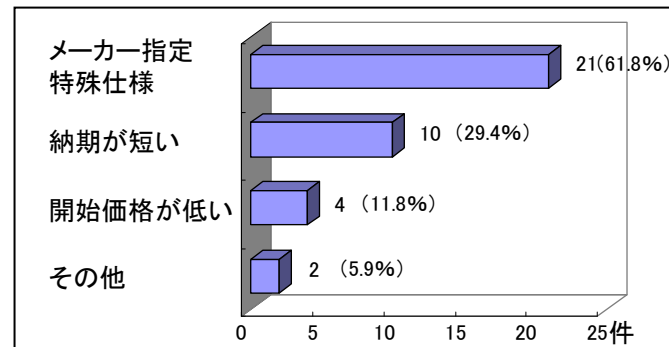
(単位：千円)

区分	件数	予算額	削減額	削減率
RAが機能しなかった案件 (参加1社以下案件)	34	4,868,345	6,661	0.1%
機能した案件 (参加2社以上)	86	9,269,557	1,286,805	13.9%

RAが機能せず、削減効果がほとんど出ていない案件(参加が1社以下)が**全体の28.9%**(34件)存在。

### イ 参入者が1社以下となった原因

【原因別件数】 ※参加辞退業者より聴取。複数カウントのため件数は一致しない。



- ・「メーカー純正品のみ指定」、「特殊な仕様」等、参入可能企業の範囲を狭めていることが原因のケースが最も多い。
- ・また、納期が短いため、「製造体制が整わない」、「リスク回避のため参入しない」等の原因が2番目に多く、調達事務の早期着手で改善可能。

### ウ 改善の可能性があるアイテム例

(単位：千円)

項目	件数	金額	検討ポイント
プリンターナーカートリッジ プリンターインクカートリッジ	8	536,435	・純正品ではなく汎用品としないか ・リサイクル品で代用できないか
国際郵便関連ラベル 書留用バーコードラベル	6	391,718	・汎用的な仕様にならないか ・納期を十分に確保できないか
印影用紙2 (窓口端末で使用) 区分機用紙札用紙	2	142,433	・用紙等の規格を緩和できないか ・特殊加工等の仕様を緩和できないか
事業用軽自動車	3	4,538,700	・納期期間をもう少し長くできないか ・別車種も参入可能なよう、仕様を緩和できないか

## 4 今後の課題等

- (1) 上期にRAを実施した案件のうち、次回調達に向け対策が明確なものの確実な推進。
- (2) 案件の早期把握による仕様検討期間、公告・納入期間の確保。
- (3) 新規業者増加等に伴うリスク防止のため、監督・検査の強化。

## 参考1：調達サポートデスクについて

### <概要>

- ・施策元の調達事務(仕様書作成支援、仕様見直し等)のサポートと、案件の早期把握を目的に、「調達サポートデスク」を設置。
- ・対象案件は、本社調達部で契約を行う案件で、予算額が概ね300万円以上の案件。

### <主なサポート内容>

仕様書作成の支援、仕様見直し提案(要件緩和の提案等)、概算見積の代行取得等。

実際には・・・

新規案件で、仕様書を1から作るが、どう作ったら良いかわからない。

仕様書の作成支援

新規案件で、概算の見積を複数社から取得したいが、依頼先がわからない。

概算見積の代行取得  
取扱業者の紹介

毎年購入しているものだが、コスト削減のため仕様の見直しをしたい。

仕様要件緩和の提案

特に、「仕様要件緩和提案」は、コスト削減に大きな効果があることから、引き続き積極的利用を奨励。

## 参考2：RA実施までのフロー

